

ご自由にお取りください

## インフォメーション information

### NPO法人

NPO法人の設立・運営に関する相談や、各種提出書類の相談窓口を開設しています。特に、法人の設立及び定款変更の認証申請書類の作成に関しては、留意していただく事項が多いため、申請書類の作成に関する質問、提出書類の確認をするなどの事前相談を実施しています。また法人の活動状況把握のための訪問や、要望に応じての出前相談会も行っています。



### ボランティア

ボランティア活動を始めたい、ボランティアを募集したい等の様々な相談を受け付けています。また「よかよかボランティア」登録、団体でのボランティア登録を受け付けており、登録された方には定期的にボランティアに関する情報をお届けしております。ボランティア活動に興味のある方はぜひご来館ください。



### 熊本市市民公益活動支援基金 その他助成金

「熊本市市民公益活動支援基金」や、その他助成金に関する相談を受け付けています。「熊本市市民公益活動支援基金」から助成を受けるためには、あらかじめ基金団体登録をしていただく必要があります。申請書や報告書など書類の書き方の説明や、団体の運営相談などを受け付けています。また、その他助成金に関しては、ホームページでの情報掲載や、窓口での説明・紹介等を行っています。

### Let's goあいぽーと!

あいぽーとでのイベント情報をFM791のラジオで毎週月曜日朝8時40分より発信しています。「Let's goあいぽーと!」を聴いてあいぽーと情報をGETして遊びに来てください。

放送日/毎週月曜日 8:40~

※生放送のため、開始時間が前後する場合がございます。

### あいりぽーと

毎月、あいぽーとスタッフが、熊本市内で活動している団体を紹介し、FM791のラジオ番組「校区のチカラ」の中で取材報告をしています。

放送日/毎月第2金曜日 14:00~



### 動画deあいぽーと

NPO向け講座&あいぽーと活用法をYouTubeで公開しています。ボランティア情報を探するとき、書類の作成で悩んだときなど、ぜひ活用してください。今後もどんどんアップしていく予定なのでチャンネル登録もよろしくお願いします!

チャンネル登録はコチラ



詳細については、お気軽に下記までお問い合わせください。

〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1-1 ウェルパルクまもと1階  
TEL:096-366-0168 FAX:096-366-8830  
Mail:airport\_kumamoto\_city@joy.ocn.ne.jp



ホームページは  
コチラから

特集

## 熊本市市民公益活動支援基金 創設10周年~これまでの軌跡~

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

# もくじ Contents

## 特集

### 熊本市市民公益活動支援基金 創設10周年～これまでの軌跡～ …… P02-P15

基金の仕組み・これまでの統計 寄附金額、採択件数、登録件数 ……	P02-P03
平成24・25・26・27・28・29・30・31年度 ……	P04-P11
令和2・3・4年度 ……	P12-P15

クローズアップヒューマン ……	P01
Editors Note ……	P16
あいず川柳 ……	P17

#### 表紙について

熊本市市民公益活動支援基金は市民の皆さんからの寄附をもとに市民公益活動に取り組む団体の活動を助成して10周年を迎えました。今号では、その一部ですが10周年の軌跡をまとめて紹介します。表紙の写真は、その活動の一コマです。

# クローズアップ ヒューマン

軽い気持ちで参加した  
ボランティアから人生  
が広がり始めた気がし  
ます！

藤本 喬大さん(27)

熊本市職員 (取材当時)

#### — ボランティアを始めたきっかけ

大学入学後に、バイト先やサークル、学科の友人以外の友達をつくりたいと思ったことがきっかけです。ボランティアをしたいというより、友達をつくりたいと思い、ボランティアに参加しました。その時に知り合った大学の先輩からボランティアのいろはを覚えてもらううちに、今では私が周りをボランティアに巻き込むまでになりました。当時は先輩に誘われてイベント運営のお手伝い等に参加していたのですが、本格的に自分からボランティアを行ったのは、20歳の時の熊本地震発生後の避難所運営です。生活用水を地域の小学校に取りに行ったときに同じ被災者であるはずの職員の方と小学生が、避難してきた方への対応をしているのを見て、20歳の若者として何かできることがないかと思い、お話を伺ったのがきっかけです。

#### — ボランティアを始めた当初と現在での自分自身の変化はありますか

ボランティアをする前は、人と接することが苦手な変化があります。ボランティアをする前は、人と接することが苦手で、どちらかというと話しかけられるのを待っているようなタイプでした。人見知りな私でしたが、まちづくりや地域活性に関するイベント企画や運営を行う中で、企業や役所に勤められている社会人の方や、同じ学生、地域の方々との交流を通してコミュニケーション力がつきました。漠然と人と関わることに苦手意識を持っていましたが、今では色々な世代・職種の方と関わってみたいと思っています。

#### — 熊本市市民公益活動支援基金に寄附したきっかけ

初めての寄附は知人に紹介してもらったときです。何に使われるかはわからずに寄附しましたが、寄附した活動の報告を見て実は市民公益活動に対する寄附なんだとわかりました。地域をもっと良くしたり、困っている人を助けたいと思って、金銭面のハードルで活動の幅を広げられなかったり、スタートアップができなかったりすることもあるかと思っています。現在はそういった時に少しでも役立てればと考え寄附しています。自分自身でなかなか時間が取れない時でもこのような形で協力できるので、今後も続けていきたいです。

#### — これからボランティアをしようと思われる方へメッセージを！

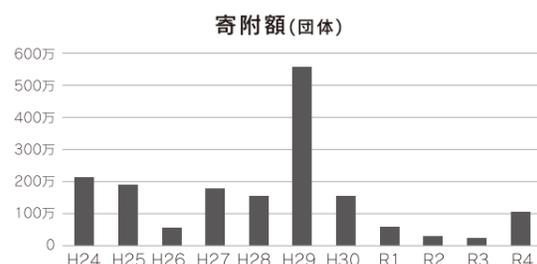
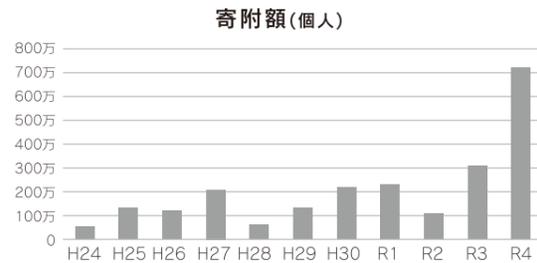
ボランティアを通じて、立場や年齢を超えて色々な人と出会うチャンスがあります。人生において人と出会って交流をした経験は、自分自身の財産にもなります。ボランティアへの参加で人生の選択肢が広がったり、自分の殻を破ることへとつながったりするかもしれません。まちづくり、地域保全、国際交流、福祉、学習、スポーツや観光など、どんな分野であつてもあなたが持っている力や知識を必要としている人がいます。ボランティアを始めるきっかけは自己中心的な理由でも良いと思います。まずは興味を持ったことがあれば参加してみたいです。自分が自分でできることで社会に貢献できることはなんだろうかと考えることも大事な時間でしょう。ボランティアを通じて自分も社会もより良い方向へ進めばいいなと願っています。



寄附の話

熊本市市民公益活動支援基金は市民や企業からの寄附を基に運営されます。これまでたくさんの想いが寄附に託されています。

	個人		団体	
	件	寄附金額	件	寄附金額
平成24年度	19	484,000	10	2,289,379
平成25年度	19	1,308,732	26	1,904,791
平成26年度	494	1,380,123	28	455,409
平成27年度	862	2,056,051	31	1,835,585
平成28年度	65	540,102	27	1,571,103
平成29年度	691	1,381,681	29	5,533,087
平成30年度	872	2,222,884	31	1,615,613
令和元年	1,026	2,352,653	32	567,280
令和2年度	143	1,095,989	28	225,604
令和3年度	310	3,064,286	30	186,269
令和4年度	1,437	7,387,655	32	1,038,307



※個人については直接寄附を頂いた方、ふるさと納税制度を利用された方、熊本城マラソンチャリティーランナーの皆様から多くの支援を頂きました。  
※令和4年度は令和5年3月1日現在

寄附者紹介 ※冠寄附も含む

平成24年 4月  
株式会社 コスギ不動産様  
『コスギスマイル基金』..... 1,000,000円

平成24年 6月  
株式会社 えがお様  
『株式会社えがお・わくわく基金』..... 1,000,000円

平成30年 3月  
公益社団法人 熊本法人会様  
『公益社団法人熊本法人会ファンド』..... 4,000,000円

東京エレクトロン九州 株式会社様  
『東京エレクトロン九州・マッチングギフト』  
平成27年 12月 ..... 1,000,000円  
平成29年 3月 ..... 1,000,000円  
平成30年 3月 ..... 1,000,000円  
平成31年 3月 ..... 1,000,000円

■令和4年7月11日から令和5年1月10日の間に寄附をいただいた方  
〔一般寄附〕 ●株式会社 サンワイテック 代表取締役 松原 匡宏 様 ..... 300,000円 ●(一財)熊本国際観光コンベンション協会職員一同 ..... 14,000円 ●市役所庁舎1階 募金箱 ..... 8,881円  
●株式会社 熊本市リサイクル事業センター様 ..... 2,078円 ●あいぽーと募金箱 ..... 1,120円

《ご要望によりお名前のみ公開希望の方》  
●中村 奏太 ●馬島 健次 ●緒瀬 治彦 ●川口 拓郎 ●渡邊 慶 ●今井 良成 ●角田 龍二 ●坂巻 龍治 ●染谷 喜幸 ●前田 憲志 ●上村 博之 ●北村 龍彦 ●西村 隆博 ●田代 文洋 ●塚口 浩二  
●平林 康宏 ●水野 浩志 ●納口 雅久 ●河本 吉丘 ●後藤 陽一 ●有本 潔 ●山本 直之 ●藤原 圭佑 ●高橋 弘美 ●森 大樹 ●松倉 裕二 ●上田 信一 ●矢野 幸晴 ●露永 健之 ●潮永 誠  
●渡辺 裕立 ●佐々木茅文 ●高橋 綾子 ●緒方 和子 ●樋口 道泰 ●山崎 光太 ●森本 博 ●神長 幸一 ●川口 敏典 ●源部 峰徳 ●池福 史弘 ●高島 千鶴 ●中村 清香 ●上野 公一 ●村田 謙二  
●加藤 憲司 ●安井 昭紀 ●田中 剛 ●山田 紀枝 ●松本富士男 ●杉山 泰司 ●高橋 誠也 ●磯野 恭輔 ●河野 光彦 ●栗原 裕子 ●宮藤 武志 ●原本 靖久 ●小澤 淳 ●植木 健 ●大橋 麻美  
●内田 早紀 ●黒木 亮太 ●田尻 俊治 ●小山 和美 ●田中 美香 ●清田 光治 ●竹田 逸夫 ●土井 和子 ●白石 直子 ●浦田 憲治 ●吉田 泰邦 ●川住 知弘 ●松永 大助 ●上田 純平 ●石原 昂尚  
●吉村 俊久 ●福岡 伸也 ●横寺 重人 ●藤原 芳文 ●西山美奈子 ●本田 莉沙 ●高智穂さくら ●柳原 秀哉 ●水野 真樹 ●金本沙也佳 ●熊本城桜の馬場リテール株式会社 ●Eグリーン ●白鷹  
●安田 征司 ●太田 康文 ●東 広大 ●金井 俊行 ●津田 聡 ●松枝 清美 ●伊形 治美 ●伊形友理奈 ●三浦 幸博 ●濱田 孝子 ●株式会社 バースト24 ●株式会社 オークス熊本 ●有限会社 石翔  
●道家 梨花 ●喜佐田亮伸 ●吉野りつ子 ●堀田 優里 ●赤峰 律子 ●小川 延宏 ●廣瀬 宗美 ●益岡 宏規 ●竹田 靖宏 ●永田 賢正 ●NPO法人スガレク・エイム ●株式会社 熊本シティエフエム ●有限会社 オー・エス収集センター  
●藤本 篤太 ●川上 由華 ●北口 浩之 ●北口 万起 ●村上 和美 ●原田 靖子 ●野口信太郎 ●光安林太郎 ●田上 忠恵 ●小島 秀樹 ●株式会社 熊本新明産業 株式会社 ●熊本心援チャリティーランナー 一般枠 973名  
●原田 宣博 ●轟 正彦 ●笹島 厚 ●高川 尚久 ●矢澤 寛子 ●長谷川一秀 ●佐野 真紀 ●永瀬 志帆 ●馬場 太郎 ●中嶋 明夫 ●熊本新明産業 株式会社 ●熊本心援チャリティーランナー 一般枠 973名  
●松本 光裕 ●田尻 一誠 ●角田 俊一 ●宮崎 昌光 ●上村 亮 ●藤原 貴徳 ●水野 泰裕 ●中栗 智子 ●赤石 宗和 ●上妻 秀明 ※掲載を希望されなかった方235名 ※順不同

寄附の種類

- ◆一般寄附
- ◆冠寄附 (100万円以上の寄附)
- ◆寄附金付自動販売機の設置
- ◆香典のご寄附

寄附の方法

- ・現金や口座振込
- ・市外在住の個人の方については「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」のサイトから寄附ができます。

寄附者の特典もあります!

- ・税金の優遇措置(個人/法人)
- ・5,000円以上の寄附で、動植物園や熊本城の施設優遇
- ・市外在住の個人の方については「ふるさと納税制度」の利用

平成24年4月、熊本市が全国20番目の政令指定都市となったことを記念して、熊本市はまちづくりに取り組むNPOやボランティア団体を資金面で応援する『熊本市市民公益活動支援基金』を創設しました。

熊本市市民公益活動支援基金のしくみ



制度(しくみ)の話

助成の種類も寄附者の想いや団体の活動によって変更されました。

平成24年～平成28年

助成種別	助成対象	助成率	助成種別	助成対象	助成率
分野指定助成	・活動分野の種類(6分野)で活動する団体 1.保健・医療又は福祉の増進を図る活動 2.環境の保全を図る活動 3.生涯学習・子どもの健全育成を図る活動 4.文化・芸術・スポーツ・国際協力の振興を図る活動 5.まちづくりや地域安全の推進を図る活動 6.1から5に含まれない活動	5万～ 100万円 (2/3補助)	スタートアップ助成	・設立3年未満の団体が実施する事業 ・同一団体に対して1ヶ年度まで助成	上限10万円 (10割補助)
			団体応援助成 ※平成28年度終了	特定の団体の活動を応援したい。寄附者から選定された団体。	最大20万円 (10割補助)

平成29年度～現在 助成制度が変更になりました。

助成種別	助成対象	助成率	助成種別	助成対象	助成率
ステップアップ助成	・様々な分野における市民公益活動 ・同一団体に対して継続して3ヶ年度まで助成	上限 25万円 (2/3補助)	子ども・学生ボランティア助成 小・中学生枠	・熊本市の小・中学生が5人以上で行うボランティア活動	上限 5万円 (10割補助)
スタートアップ助成	・設立3年未満の団体が実施する事業 ・同一団体に対して1ヶ年度まで助成	上限 10万円 (10割補助)	子ども・学生ボランティア助成 高校・大学生枠	・熊本市の高校生・大学生等の学生が5人以上で行うボランティア活動	上限 10万円 (10割補助)

新たに開始される市民公益活動を応援する「スタートアップ助成」と、既存の事業をより発展させるための「ステップアップ助成」。また10周年を迎える令和4年度は若い世代のボランティア活動の関心の高まりを背景に、若い世代が考える「市民公益活動」の実践の機会を設けることを目的に「子ども・学生ボランティア助成」助成枠を設けました。

助成件数と助成金額 平成24年度～28年度

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	件	助成金額	件	助成金額	件	助成金額	件	助成金額	件	助成金額	
分野指定助成	保健・医療・福祉	2	240,000	3	899,970	3	640,000	5	671,000	3	550,000
	環境保全	1	120,500	1	183,986	1	158,302	1	150,000	1	240,000
	生涯学習・子どもの健全育成	2	230,000	1	100,000	3	494,000	2	360,000	4	315,434
	文化・芸術・スポーツ・国際	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0
	まちづくり・地域安全	1	200,000	1	110,000	4	880,000	1	210,000	1	200,000
スタートアップ	2	200,000	3	300,000	5	479,000	3	300,000	4	360,000	
団体応援助成	0	0	0	0	2	150,000	1	45,000		終了	

助成件数と助成金額 平成29年度～令和4年度

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件	助成金額	件	助成金額	件	助成金額	件	助成金額	件	助成金額	件	助成金額
ステップアップ助成	10	1,298,859	9	1,285,396	10	1,758,842	5	851,414	7	1,168,258	8	1,360,443
スタートアップ助成	4	370,764	5	500,000	2	180,000	4	283,953	4	297,911	3	300,000

平成25年度 熊本市市民公益活動支援基金 平成25年度 助成決定団体

2013

分野指定助成事業	6事業	1,293,956円
スタートアップ事業	3事業	300,000円
計	9事業	1,593,956円



『口からの健康づくり 歯っぴーかむカム』

(くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会(助成事業時))

【平成25年度助成事業名】

生きる喜びに繋がる口の機能の発達を促す「ペロタッチ」の普及事業

【設立のきっかけ】

設立年：平成20年。平成31年団体名変更。

自らの生きる力を信じて、医療だけに頼らない「口から始める健康づくり」をすすめたいとの思いがきっかけです。目的に賛同したNPO、企業、ボランティア団体、歯科、医療関係者、大学関係者によって設立し口の健康づくりを基盤として、参加型ゲームや健康に役立つ情報発信イベントなどを行っています。

【活動内容】

ペロタッチ普及：講演、セミナー開催、保育園での直接指導

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

ペロタッチは、元々は障がいを持つ保護者の支援が始まりです。舌の3か所を9秒タッチするだけの脊髄反射を利用したトレーニングなので、障がい者の方にも簡単にでき高齢者の認知症予防にもつながります。副作用もなく誰でも簡単にできる健康法です。このペロタッチを認知してもらうための研修や地域活動普及のための資金に苦慮していたため申請しました。



【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

助成前は、認知度がなかったため周りの方から賛同が得られなかったのですが、助成後は「ペロタッチソング」を制作しペロタッチソングに合わせて「ペロタッチ音頭」や「ペロタッチ体操」も考え、普及に関して安定した活動ができ内容が充実したおかげで、信用度が向上し、仲間が増えてより活動しやすくなりました。

【今後の展望は】

引き続き、「ペロのチカラ」や「最後まで普通食を!」をテーマに「ペロタッチ」を普及し続けたいです。



平成25年度実績報告

平成24年度 熊本市市民公益活動支援基金 平成24年度 助成決定団体

2012

分野指定助成事業	6事業	790,500円
スタートアップ助成事業	2事業	200,000円
計	8事業	990,500円



『NPO法人しらさぎ』

(平成27年より認定NPO法人 しらさぎ)

【平成24年度助成事業名】

阿蘇西原村植林地下草刈り活動

【設立のきっかけ】

設立年：平成19年。

電柱や送電線鉄塔など高所での作業技術を活かして、地域の誇りである文化財の美化に貢献しようとボランティア活動として実施しており、ボランティア活動を通じて子供達の育成や地域への貢献と自分自身の心の成長を目的に設立しました。

【活動内容】

西原村植林ボランティア活動、熊本城清掃ボランティア活動  
八代城址・水島清掃ボランティア活動

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

地域温暖化防止と水循環過程における森林の関与する熊本市の水源を守るため、既に植樹した900本の広葉樹の周りの下草刈りをする必要があり、実施するにあたり道具等の購入資金が必要となり申請しました。



【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

会員は元より、一般からも参加を募って活動仲間を上げようと気運が高まりました。活動が継続的に実施することが可能となり協力いただける方が増えたことで、平成27年に認定NPO法人になることができました。

【今後の展望は】

引き続き植林や八代城址、水島清掃を実施していきたいです。また熊本城「武者返し」の石垣除草を復活し、熊本市の活性化、復興の助勢、きれいな熊本市(熊本城)の環境保全活動へ貢献し、輪を広げていきたいと思ひます。



平成24年度実績報告

平成27年度 熊本市市民公益活動支援基金 平成27年度 助成決定団体

2015

分野指定助成事業	9事業	1,391,000円	
スタートアップ助成事業	3事業	300,000円	計
団体応援助成事業	1事業	45,000円	13事業 1,736,000円



『NPO法人 日本防災士会・熊本県支部』

【平成27年度助成事業名】

地域市民とNPOとのコラボDEまちづくり防災出前講座

【設立のきっかけ】

設立年：平成18年。

1995年に発生した阪神・淡路大震災を機に、その教訓を活かして、地域防災力の向上を担う新しい民間の防災リーダーを養成することをめざして、2003年に防災士の資格認定制度が始まりました。その後、防災士の資格保有者で構成される特定非営利活動法人(NPO法人)日本防災士会が設立され、その熊本県支部として発足したのが2006(平成18)年。当時熊本県で防災士として活動していた5人でスタートしました。

【活動内容】

- ・地域の方々との連携
- ・防災意識の向上のため各自治体や地域が行う研修会や避難訓練に参加
- ・災害現地へ物資調達や避難所運営などの支援活動
- ・防災士の養成講座などへの講師派遣
- ・防災士スキルアップ研修開催

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

防災士会の活動は、平常時の啓発・普及活動・災害発災時の支援活動等と多岐に渡ります。「自助、共助、協働」という理念の元、防災意識が高まるように防災ゲーム(HUG等)の取組や防災訓練等への支援のために申請しました。

【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

いつ・何処で発生するか分からない自然災害に対する知識・認識を高めるために、災害図上ゲーム(DIG)・避難所運営ゲーム(HUG)・クロスロードゲームを積極的に計画し、町内会及び児童や生徒の皆さんに体験して頂きました。また高校生など若い世代の子ども達を含め多くの方に防災・減災に備える心構えが如何に大事であるかを伝えることができました。そのことにより多くの市民の方々に「災害発生時の緊急避難がとても大事だ」と認識してもらい、日頃の備えの大切さを感じていただけました。

【今後の展望は】

熊本県支部も会員が増え大きな組織となりました。会員間の横のつながりを密にするためにも、周知の仕方などを工夫し、組織の強化を行って、日頃の防災活動や有事の際の支援活動への体制を強めていきたいと考えています。また、市民の皆さんとの連携や、防災意識の高揚のためにも、積極的に地域行事などへ参加していきたいと思っています。



平成27年度実績報告

平成26年度 熊本市市民公益活動支援基金 平成26年度 助成決定団体

2014

分野指定助成事業	12事業	2,272,302円	
スタートアップ助成事業	5事業	479,000円	計
団体応援助成事業	2事業	150,000円	19事業 2,901,302円



『NPO法人成年後見安心サポートネット熊本』

【平成26年度助成事業名】

成年後見無料相談事業ならびに広報啓発事業

【設立のきっかけ】

設立年：平成22年。

判断能力の不十分な高齢者や障がい者が、いつでも、どこでも、容易に成年後見制度を利用できるようにと制度の普及促進を目的に設立。

【活動内容】

- (1) 高齢者等の諸問題に関する相談事業
- (2) 任意後見人及び任意後見監督人の受任、指導及び育成事業
- (3) 法定後見人及び法定後見監督人の受任、指導及び育成事業
- (4) 高齢者等のための財産管理、各種契約締結及び各種申請等手続補助事業
- (5) 遺言書作成支援及び遺言執行、葬儀等の死後事務処理に関する事業
- (6) 後見制度等に関する講演会、各種研修会等の開催及び講師派遣事業
- (7) 行政機関、各種団体との連絡、協調に関する事業
- (8) 後見制度等に関する情報誌、刊行物の発行事業

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

私たちの活動は、「成年後見制度」を必要とする方が相談に来られてからスタートになります。そのためには制度のことを知ってもらわないと進みません。そこでチラシ作成や広告掲載料など広報に力を入れるための資金づくりとして申請しました。



【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

これまで3回助成を受けたことで、広報活動のベースを作ることができました。おかげで団体名はもちろん活動内容も多くの方に知ってもらう機会づくりができ、活動の基盤が整えられ事業の継続に繋がっています。

【今後の展望は】

団体の単独での活動では限界があります。自治体や地域、他団体とも協力し、相談会開催や地域包括センター・福祉施設等に後見制度等の周知、利用の拡大を図り、判断能力の不十分な高齢者等の皆さんが、尊厳をもって安心して生活していけるようにボランティア精神でフットワーク良く活動していきたいです。



平成26年度実績報告

平成29年度 熊本市市民公益活動支援基金 平成29年度 助成決定団体

2017

ステップアップ助成事業	10事業	1,298,859円
スタートアップ助成事業	4事業	370,764円
計	14事業	1,669,623円



『NPO法人 身近な犯罪被害者を支援する会』

【平成29年度助成事業名】

犯罪被害者等への理解と被害に遭われた方々への相談窓口の周知対策

【設立のきっかけ】

設立年:平成23年。  
 犯罪は何があっても起こしてはいけない。これは大前提です。時代の変化に伴い、相手は誰でもよかった等という身勝手に理不尽な事件が多くなり、被害に遭われた方々の人権について考えるようになりました。犯罪によっては社会復帰も困難になり、また最愛の家族が殺害されたり、自身が性被害に遭ったりしたことで、心に深い傷を負い恐怖や不安、

孤立の感情を抱える人、PTSDを患い長く悩んでいる人等が多くいる事に気づきました。犯罪被害者等に聴けば聞くほど被害者等を誰かが支え、被害者等の人権を守っていくことの大切さを学びこの法人を立ち上げました。

【活動内容】

犯罪被害者への

1. 面接相談及び電話相談
2. 警察・検察・裁判所等への付き添い支援
3. 刑事・民事への手続き対応支援
4. 心理相談対応及び付添い
5. 犯罪被害者等に関する啓発活動
6. 相談員のレベルアップ講座及び養成講座

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

犯罪被害者等への市民の理解を深めるため、被害者等への支援はすべて無償で対応し資金的には会員の負担で運営していましたが啓発活動の充実を図るためにあいぽーとに相談したところ市の基金を紹介いただきました。

【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

助成を受けることで啓発活動等により被害者等への理解は深まっていると考えます。また被害者等の実情を知ることで賛助会員も増加の傾向にあります。またまだ啓発活動は続けていく必要があります。こうした活動が犯罪の抑止に繋がっていると思います。

【今後の展望は】

犯罪被害者等への対応の強化を図りたいです。啓発活動は今後も継続的に実施し、青少年が犯罪を起こさない、被害者にもならないまちづくり、青少年の犯罪被害の防止、早期発見、早期対応に取り組んでいきたいです。



平成29年度実績報告

平成28年度 熊本市市民公益活動支援基金 平成28年度 助成決定団体

2016

分野指定助成事業	9事業	1,305,434円
スタートアップ助成事業	4事業	360,000円
計	13事業	1,665,434円



『特定非営利活動法人 優里の会』

(令和2年より認定特定非営利活動法人 優里の会)

【平成28年度助成事業名】

里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業

【設立のきっかけ】

設立年:平成25年。  
 「すべての子どもたちの安心・安全な暮らし」を実現するため、里親養育の支援を行うため。

【活動内容】

里親制度の普及啓発活動  
 講演会、研修会の開催など。



【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

活動資金に充てるための助成金を探していたところ、「市民公益活動」のための助成金があることを知り申請しました。助成金の申請のための書類づくりのスキルを得ることができました。それだけではなく基金の交流会や報告会において他団体との交流ができ情報共有できたことは大きな財産となり私たちの活動の視野が広がるきっかけになりました。

【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

これまで4回助成を受けましたが、おかげで活動を継続的に進めるようになり認知度も上がりました。一方で助成金ばかりに頼っていてもいけないと考えるようになり、運営を安定化させるためには助成金の他にも受託費や寄附金などによって収入源のバランスをとることも重要と思い、事業収入や寄附収入を継続的に安定させるために「認定特定非営利活動法人」になる目標を立て令和2年に認定特定非営利活動法人となることができました。

【今後の展望は】

団体を立ち上げたとき、全国で盛んに「里親を増やそう」という動きがあり、その流れに乗って団体も成長してきましたが、「子どもたちの安心・安全な暮らし」という大きな目的のためには、取り組まなければならないことがまだまだたくさんあります。里親制度の普及啓発活動やさらに児童虐待防止に向けた取り組みなど、子どもたちの声をしっかり受け止めていきたいです。



平成28年度実績報告

令和元年度 熊本市市民公益活動支援基金 令和元年度 助成決定団体

2019

スタートアップ事業	2事業	180,000円
ステップアップ事業	10事業	1,758,842円
計	12事業	1,938,842円



『傾聴ボランティアくまもと』

【令和元年度助成事業名】

震災仮設住宅の被災者一人一人の話を聞き、元気を取り戻すお手伝いをする

【設立のきっかけ】

設立年：平成23年  
当時の代表3名が、鈴木絹英先生（日本ボランティア協会理事長）の講座を受講しとても感銘を受けたのがきっかけです。皆さんが傾聴を活用することでこれからの超高齢化社会が心豊かで、熊本に住んで良かったと思える街づくりに貢献したいという思いから、その知識を広め、まずは、会員自らが実践し、傾聴に関しては、熊本地域のコアになろうと結成しました。

【活動内容】

- ・傾聴活動：高齢者施設（5～6か所）・ターミナルケア病院・社協からの依頼を受けて傾聴活動
- ・災害支援：熊本地震直後に、被災者支援を開始。避難所一仮設住宅1一仮設住宅2一復興住宅と人の流れに沿って傾聴活動の場所を変え6年間継続して活動中。
- ・会報発行：高齢者施設などボランティアが入れない現状では、築いてきた関係が切れないよう、会報を届けたり、お便りを出したりと努力しています。

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

団体活動の資金について頭を抱えていたところ、あいぽーとのスタッフから紹介してもらったのがきっかけです。それまで助成金を申請した経験が少ない私たちに、書類の作成からプレゼンテーションの手法までアドバイスを

いただき、私たちにとって前進する機会をいただきました。助成事業の採択のお知らせを受けた時、地味で目立たない傾聴活動を認めていただいたと思い嬉しかったです。

【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

出前講座などで団体紹介時に、「熊本市市民公益活動支援基金を受けて活動しています」とお話しをすることで団体としての信頼度が高くなったと実感します。団体としても、書類作成に力がつき、実績報告をすることで団体の活動の振り返りができ活動の励みとなっています。

【今後の展望は】

コロナ禍で思うような傾聴活動ができませんでしたが、これまで築いた関係が切れないよう、定期的にお声かけをしたり、会報をお届けしたりしています。コロナも含めて、その時の生活環境の変化でも対応できる事はないだろうか検討し、電話傾聴、個人宅傾聴等も始めているところです。



令和元年度実績報告

平成30年度 熊本市市民公益活動支援基金 平成30年度 助成決定団体

2018

スタートアップ助成事業	5事業	500,000円
ステップアップ事業	9事業	1,285,396円
計	14事業	1,785,396円



『うえき自然塾』

【平成30年度助成事業名】

里山での親子自然体験活動

【設立のきっかけ】

設立年：平成19年。  
少子高齢化が進むとともに自然環境も失われる中、「自然体験活動を通して子育てを!」、「豊かな自然の中で思いっきり触れ親しみながらたくましく生きる知恵と技を身につけた人材を育てたい」という思いで集まった仲間とともに活動を始めました。

【活動内容】

野外での親子体験活動  
熊本の豊かな自然で「作る」「食べる」「遊ぶ」の3つを軸とした活動

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

ゼロからのスタートだったので活動には資金が必要でした。初めは知人に寄附をお願いしたりして活動をしていましたが、安定して活動していくためには活動に必要な道具などを揃えた方がいいと考え申請しました。

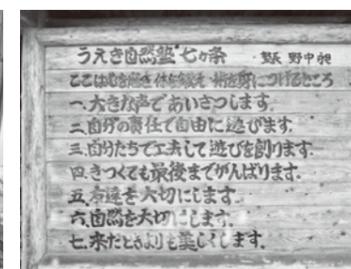
【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

活動を安定して行えることにより団体の認知度が高まり、団体の意欲も増してきたのが一番の変化です。活動に参加いただいた方の中には熊本の豊かな自然に魅了され、家族で移住された方もいます。継続的に活動することにより、自分たちの伝えたいことができたのだと思います。



【今後の展望は】

現在はコロナ禍で活動を自粛していますが、いつでも活動が再開できるように里山の整備等は行っています。活動自体は安定してきていますが、メンバーの高齢化が進んでいるため新しい仲間を迎えることが必要です。



平成30年度実績報告

令和3年度 熊本市市民公益活動支援基金 令和3年度 助成決定団体

2021

スタートアップ助成事業 4事業 297,911円 計  
 ステップアップ助成事業 7事業 1,168,258円 11事業 1,466,169円

※この事業は、くまもと・わくわく基金及び「公益社団法人 熊本法人会ファンド」より助成しています。



『NPO法人 コロボックル・プロジェクト』

【令和3年度助成事業名】

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業  
 里・夢プロジェクト

【設立のきっかけ】

設立年：平成16年。  
 熊本市西区花園・柿原地区で自然調査や自然観察に取り組んでいた個人や大学生、専門家などが集まり、「自然をきちんと調べ、知り、伝え、みんなで守っていきましょう。」と自然調査や自然環境保全の取組を始める。

【活動内容】

- ・自然環境の調査・研究
- ・調査結果の公開
- ・まちづくりの支援
- ・子どもの自然体験活動の推進
- ・障がい児・障がい者の発達相談

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

地域の課題である不耕作棚田を整備・維持し、地域内外の人々が協働して、四季を通じた様々な野菜やもち米の、種まきから草とり、収穫、食育活動に取り組むための活動を充実させるために必要な道具等を申請しました。

【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

里山での虫取りや川遊びなどの自然体験、野菜やもち米の農・食文化体験など、生物多様性の恵みに関する体験活動ができ、金峰自然楽校として活動を充実させる方向が見えてきました。



【今後の展望は】

金峰自然楽校として自然・農・食体験活動を中心に共生社会を目指したいです。また「後継者づくり」が課題で、この活動を引き継いでくれる仲間が必要です。地域の豊かな自然を守りながら、ドキドキ、ワクワク、チャレンジできる居場所づくりをさらに進めていきます。



令和3年度実績報告

令和2年度 熊本市市民公益活動支援基金 令和2年度 助成決定団体

2020

スタートアップ助成事業 4事業 283,953円 計  
 ステップアップ助成事業 5事業 851,414円 9事業 1,135,367円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催場所、開催方法などが制限される中、各団体様々な工夫や検討をされながら事業を実施されました。また、採択された13団体のうち4団体は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、検討をされた結果、事業実施が困難として、辞退されました。(この事業は、熊本市市民公益活動支援基金及び「公益社団法人 熊本法人会ファンド」、「東京エレクトロン九州・マッチングギフト」より助成しています。)



『NPO法人 ガット』

【令和2年度助成事業名】

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業  
 熊本市立小・中学校の学校図書館活性化事業

【設立のきっかけ】

設立年：平成29年。  
 団体のメンバーはもともと「熊本県学校図書館協議会」という組織で長い間実務に携わってきました。小・中学校の学校図書館に関する仕事を続けていくなかで「学校の図書館をよりよくなり、子どもたちの健全育成に貢献しよう!」と思い立ちました。



【活動内容】

- 学校図書館を魅力的にし、本で全ての子どもや地域を幸せにする活動
- ①ガット教室(学校に通えない小中学生に学びを提供します。)
  - ②松陰塾 熊本中島校(完全個別で学力向上を目指します。)
  - ③ガットカフェ(コミュニケーションカフェ。一般の方もご来店いただけます。)
  - ④本の無料貸し出し(児童書から一般書まで約3500冊の本を準備しています。)
  - ⑤おはなし会(年2～3回開催)
  - ⑥大人のための読書会(月1回開催)
  - ⑦学校図書館の運営相談及びリニューアル

【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

魅力的な学校図書館づくりを推進するには、図書館のリニューアルや利用促進などをサポートする必要があり、それには資金づくりが課題となります。そこで、助成を探したところ、この基金が熊本市の小・中学校を対象にした活動をする自分たちの想いに合致していると考えました。



【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

学校図書館に関する相談件数が増えてきました。市内の学校が活動の対象なので、この基金の助成を受けているということに信頼が寄せられているのだと思います。リニューアルした学校図書館の子どもたちや先生方からお礼の手紙が届きます。また、学校便りやHPでガットの活動が紹介されるなど基金のおかげで、魅力ある学校図書館づくりの輪が広がっています。

【今後の展望は】

これまで4回助成を受けさせていただきました。助成金を活用して小・中学校の先生たちが自分たちでリニューアルができるように学校図書館活性化に向けた講習会やリモート学習など行うことも行っています。さらに今後は学校に足の向かない子どもたちの居場所を作ることに力を入れていきたいと思っています。



令和2年度実績報告



令和4年度 こども・学生ボランティア



こども・学生ボランティア助成は、熊本市市民公益活動支援基金の設置10周年をきっかけとして、熊本市の若い世代のボランティア等への関心の高まりを背景に、若い世代の考える「市民公益活動」の実践の機会を設けることで、活動を実践する若い世代及びそれを支える周囲の人々の市民公益活動への関心を高め、今後の市民公益活動への関心・参加意欲の向上に寄与することを目的に実施しました。実績報告について後日あいぼーとホームページで紹介します。

熊本市市民公益活動支援基金 令和4年度 こども・学生ボランティア

小・中学生	5事業	250,000円	計
高校・大学生	9事業	513,943円	14事業 763,943円

小・中学生枠

ほくたち、わたしたちの公園を花でいっぱいにする会	子供たちのチカラで、「花いっぱい」の熊本市を実現しよう!公園花壇の整備、花植えをし、美化活動の大切さを訴える。
田底を花いっぱいにし隊	地域や通学路を花いっぱいにする 田底地域コミセン駐車場に芝桜を植える。(地域の環境美化)
おのうえこどもお祭り隊	僕らが地域を盛り上げる!みんなが集まるお店を開こう 子供たちによる「四ツ角マーケット」出店企画、準備、運営。
ナチュラルハッピー	広げよう3R活動 熊本市アーケード街・健軍商店街の宣伝及び清掃活動。
尾ノ上校区ボランティア会	ゴミを減らそう 守ろう3R 尾ノ上校区で清掃ボランティア。



ほくたち、わたしたちの公園を花でいっぱいにする会



ナチュラルハッピー

高校・大学生枠

熊本学園大学 おひさまカフェ	季節のイベントに合わせて交流しよう!被災者の居場所づくりを目的に、各イベント開催で交流を深める。
熊本学園大学 日本語クラブ	熊本ワールドワイド交流会!高校生・大学生の国際交流を目的とし、お菓子作り教室を開催。
農FOOD農LIFE	もったいなかプロジェクト 生活困窮者や農家支援、食品ロス問題提起の0円マルシェ開催。
学生団体Libero	スポーツマナー講座 地域の子供たちへスポーツマナー講座を開催し、交流会を行う。
熊本学園大学 Laugh Connect	季節のイベントを体感しよう! 被災地域への貢献を目指し、季節行事で共に触れ合い交流する。
真和中学・高等学校 ボランティア同好会有志	点字に親しもう 点字図書館見学・講習受講、点字絵本制作、点字体験コーナーを設置。
シコウサクゴLAB	科学への関心・理解の向上を目的とした、専門研究人材による体験型ワークショップ: 小中高校生対象の科学ワークショップを実施。
健軍リバイタライズプロジェクト	高校生が挑戦!まちのにぎわい作り 健軍商店街でスイーツの販売を行い、商店街に若者を呼び込む。
あいぐま熊本・大学部	被災者の思い出を救う写真洗浄ボランティア 若者に写真洗浄の存在やPRを行い、活動への参加につなげる。



健軍リバイタライズプロジェクト

令和5年度 「こども・学生ボランティア助成」を募集します!

詳しくは  
ホームページを  
ご覧ください



令和4年度 熊本市市民公益活動支援基金 令和4年度 助成決定団体

2022

スタートアップ助成事業 3事業 300,000円 計  
ステップアップ助成事業 8事業 1,360,443円 11事業 1,660,443円

※報告書が確定していないため予定金額



『くまもと琵琶楽普及会』

【令和4年度助成事業名】

伝統文化の継承のために～琵琶楽の魅力伝える～

【設立のきっかけ】

設立年:平成30年。  
その歴史や風土により派生した各琵琶楽の魅力を広く市民や県民の皆様へ発信し、優れた演奏家の招へい又は支援をすることなどにより、琵琶楽の普及、啓発を図り、地域文化の創造に寄与するため。

【活動内容】

- ①優れた演奏家による演奏会開催
- ②ワークショップの開催  
琵琶楽を気軽に親しみ楽しんでいただくため、琵琶に触れ、琵琶のお話し、琵琶曲を聴いていただく。また夏休みには「子ども伝統文化体験教室」を開催。
- ③会員による琵琶楽演奏会
- ④ボランティア演奏活動



【熊本市市民公益活動支援基金を申請したきっかけ】

令和元年に～熊本地震復興祈念～平家琵琶&薩摩琵琶による琵琶演奏会を開催しましたが、財政基盤が脆弱であり資金不足を痛感しました。また、日頃の活動の場の確保や効果的な広報や事業に体系的に取り組んでいく必要があると思い申請しました。

【熊本市市民公益活動支援基金の助成を受ける前と受けた後の団体の変化について】

事業や広報においてあいぼーとのスタッフのサポートもあり目標達成に向け取り組むことができました。基金の助成事業採択団体間の交流会を通して、子育て世代の団体より依頼があり、小さな子どもたちに知っていただける機会ができたのも大きな収穫でした。また近年になく琵琶楽の魅力づくりへの機運が高まる兆しが感じられ、琵琶楽の普及に心強く思われました。



【今後の展望は】

これからの伝統文化の継承に向け、市民の皆様が気軽に琵琶楽に親しんでいただけることを基本に、ワークショップに工夫を凝らして取り組むとともに、高齢者施設等へのボランティア演奏活動を地道に積み重ねて参ります。また若者層に興味や関心を持ってもらえるような演奏会を企画し、西南戦争から150年の節目(令和9年)に県内外の皆様へ熊本地震からの復興を熊本城で身近に感じていただきつつ、熊本城や関連曲を鑑賞いただく機会を創出し、歴史や文化の息づく熊本市の都市形成に寄与して参りたいと思います。

作品番号3

ブラボーと 言って終えたい 我が人生

(中央区 土屋 裕子)

作品番号2

ブラボー！ あなたの顔も 頭もすべて！

(東区 プードル雅子)

作品番号1

「ブラボー！」と 元気くれたよ F1FA ジャパン

(南区 奥村 幸博)

あいぽーと賞

我が孫よ 君のダンスは ジャニーズだ

(北区 ダンシングじいじ)

# あいず川柳「ブラボー」



作品番号9

ブラボー！と いてもむなし 物価高

(中央区 本田(教) 老人)

作品番号8

同窓会 三年ぶりに 会うブラボー

(中央区 本田(教) 老人)

作品番号7

笑顔咲く その一声で お互いの

(東区 直進)

作品番号6

大当たり さげんだブラボー 夢の中

(中央区 フィッシャーマン)

作品番号5

大音量 思わず叫ぶ 興奮し

(東区 朋彩奏)

作品番号4

ブラボーを 叫びたいけど ない度胸

(南区 月幼)



## Editors Note 編集ノート



スタッフのつづき

あいぽーとスタッフに「あなたにとってブラボーなこと」を聞いてみました

皆様方には、日頃から「熊本市市民活動支援センター・あいぽーと」をご利用いただき、心から感謝申し上げます。株式会社熊本シティエフエムが業務を受託し、9年目を迎えるようになっています。今後とも、「皆様に愛される あいぽーと」を目指してスタッフ一同努めてまいりますので、ご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

「ブラボー！」いつ聞いても気持ちのいい言葉ですね！意味は、称賛・喝采だということですが、普段何気ない時にかけられてうれしくなる魔法の言葉だと思いませんか？誰にでも「ブラボー」と言える自分でありたいし、言ってもらえる自分でありたいと思います。皆さんも誰かに「ブラボー」と言ってみませんか！一緒に幸せな時間を過ごしましょう！！(センター長 清田光治)



やっぱり最近の三苦選手の活躍はブラボーですね。何度も見たくなるあの切り裂くようなドリブルとシュート感覚はブラボーに値します。サッカーの醍醐味ですね。相手ディフェンスは置き去りで諦めちゃうもね。自分はいえれば休みに街をブラッとして、家に帰ってポーとする非日常かな…。(竹田逸夫)



12年前、主人が高次脳機能障害になりました。言葉を伝えるのに思うように言えない状況にありながらも、誠実に優しい人柄の主人は、仕事と仲間を大切にすることは変わりません。私も主人との日々のコミュニケーションを通して、人としての姿勢を学びながら、夫婦で元気に過ごせることにブラボーな人生だと感謝です。(土井和子)



私ごとですが、5月に二人目の孫が生まれます。ブラボー！一人っ子だったこともあり、家族が増えることは大変うれしく思います。名前は何にする、余計なお世話をすることを幸せに感じますね。後3か月、待ち遠しい！(浦田憲治)



去年の流行語大賞は「村神様」。街の声では「ブラボー」でしよって人も多かったけど、選挙タイミングの問題で残念ながら審査対象外。とはいえ、去年の村神様の活躍と聞いたらそれこそ「ブラボー！」。熊本人にとってはなおさらです。ウクライナ問題とか物価高騰とか暗くなるニュースが多い中で、スポーツでいっぱい「ブラボー」を感じた1年でしたね。スポーツだけでなく、もっといろんな「ブラボー」に出逢えることを願います。(吉村俊久)



私は、多くの皆さんが、あいぽーとに来館してさまざまな活動等を通して、少しでも幸せな気持ちになって利用して頂くことが「ブラボー！」と言える瞬間だと思っています。今後も、活動の場の提供、NPO法人関係、基金関係等で疑問に思うことがあれば何でも私たちに相談して、あいぽーとを利用して頂きたいと思っています。「共に幸せに！！」共に「ブラボー！！」自分の人生を一步でも前向きに進んでいけるように力を合わせて頑張っていきたいと思います！(福岡伸也)



「ブラボー」みなさん！せーの「ブラボー」。ほら、元気がたてでしょ！その元気をぜひあいぽーとに届けてください。「ブラボー！」詳しい意味は分かりませんが発するだけで、気持ちがわくわくするし、みんなが笑顔！私もモチベーションを上げたいときに発しています！(白石直子)



### 2023年9月までの あいぽーと事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
センター	随時相談受付						
	あいぽーとボランティアDAY 毎月5・15・25日開催						
	ボランティア講習会	◆学生ボランティア FESTIVAL 4/23(日)	◆ボランティアのススメ 5/21(日)		◆ボランティアのススメ7/23(日) ◆Let's Start ボランティア 7/29(土)、7/30(日) (学びの日)	◆街なか清掃 8/6(日) ◆Let's Start ボランティア 調整中(実践編)	◆防災セミナー 9/10(日) ◆ボランティアのススメ 9/24(日)
	Let's goボランティア	隔月実施					
	あいぽーと折々ボランティア	4/28(金)9:30~	5/31(水)9:30~	6/30(金)9:30~	7/31(月)9:30~	8/31(木)9:30~	9/29(金)9:30~
	あいぽーと通信の発行	毎月1日発行					
ホームページ、情報発信	随時更新						
情報誌eyesの発行						No.23発行	
NPO法人	随時相談受付 ※事前に予約をお願いします。						
	NPO法人設立個別相談会 毎月第2、4金曜日実施	4/14(金)10:00~ 4/28(金)14:00~	5/12(金)10:00~ 5/26(金)14:00~	6/9(金)10:00~ 6/23(金)14:00~	7/14(金)10:00~ 7/28(金)14:00~	8/11(金)10:00~ 8/25(金)14:00~	9/8(金)10:00~ 9/22(金)14:00~
	NPO法人設立説明会		基礎編: 5/1(月)10:00~ 書類作成編: 5/1(月)13:30~		基礎編: 7/4(火)18:00~	書類作成編: 8/9(水)13:30~	基礎編: 9/6(水)10:00~
	NPO労務専門相談: 第3水曜日	4/19(水)	5/17(水)	6/21(水)	7/19(水)	8/16(水)	9/20(水)
	NPO会計・ 税務専門相談:第3火曜日	4/18(火)	5/16(火)	6/20(火)	7/18(火)	8/15(火)	9/19(火)
	NPO資金づくり& 運営専門相談:第4火曜日	4/25(火)	5/23(火)	6/27(火)	7/25(火)	8/22(火)	9/26(火)
公熊 益活 市動 市支 民援 基金	基金運営		・4月上旬~5月末 子ども・学生 ボランティア 助成申請受付 ・4月中旬(通常枠) 令和5年度助成 事業決定書交付式	・6月末(通常枠) スタート支援・ 交流会	・7月末~8月上旬 子ども・学生 ボランティア 助成事業決定	・8月末(通常枠) 令和4年度助成 事業報告会	・9月中旬(通常枠) 令和5年度 中間支援相談
	基金に関する相談						随時相談受付